



生涯学習 まなびの森

平成16年度生涯学習標語コンテスト優秀賞

「学びから始めるボクらの町づくり」

大川原洋一（30歳・江刈）

応援します楽しい絵本のひとときを

公民館図書室「ブックスタート」

ブックスタートとは、乳幼児の時期から本に触れ、親子が絵本を介して「温かくて楽しい言葉のひととき」を持つことを応援するもので、公民館では平成十五年から一歳六カ月児健康診査に合わせて実施しています。



読み聞かせの実演を楽しむ親子

今年一回目のブックスタートは六月七日、保健センターで行われ、高家公民館長が九組の親子に絵本などが入った「ブックスタートバック」をプレゼントしました。

その後、読書ボランティアの神谷ミツ子さんが、直接赤ちゃんとお母さんたちに向き合って「はらぺこあおむし」などの本の読み聞かせの実演をしました。

参加者した木戸場凜ちゃん（江刈）のお母さんは「まだ、本なんてわからないと思っていたのに、じっと見つめてい



絵本とアドバイスブックが入った「ブックスタートバック」がプレゼントされます

てびっくりしました。家でも実践したい」と話してくれました。

次回は、八月三十日に行われます。

優しく語りかける時間を

赤ちゃんの体の成長にお乳が必要のように、乳幼児の言葉と心をはぐくむためには、ぬくもりの中で優しく語りかける時間が大切だといわれています。乳幼児と向き合うそうしたひとときは、親にとっても心安らぐ楽しい子育ての時間になります。

地域で育てる青少年④

～子ども会が活躍する夏休みを～

地域の子ども同士が仲間をつくり、役割や約束事を決めて、遊びや暮らしの活動を計画し、実行するのが子ども会です。

いよいよ、子ども会活動のハイライトといえる夏休みがやって来ます。子どもたちが学校を離れて、地区で、家庭で過ごす毎日。うっかりすると、だらだらと終わって



しまいかねません。

夏休みの活動内容については、ぜひ子どもたち自身に相談させましょう。行事だけではなく、決まりを守り楽しく生活するための話し合いも持ちましょう。

みんなで考えた計画を実現する喜びは、きっと大きな思い出になるはずです。